

# 固体廃棄物減容処理施設の整備

## 【原子力政策大綱】

- ・FBRサイクル技術などの次世代原子力発電技術の実用化を目指す研究開発の継続的実施が重要
- ・放射性廃棄物の発生者責任、廃棄物最小化、合理的な処理・処分、国民との相互理解に基づく実施の原則のもと安全な処理・処分が重要

### 1. 背景

○原子力機構大洗研究開発センターでは、照射後試験に伴い発生する廃棄物の貯蔵施設の保管余裕が逼迫しており、平成24年度には限界に達すると予測されるため、早急な対策が不可欠

### 2. 課題概要

○平成24年度までに、大洗研究開発センターに固体廃棄物減容処理施設を整備する。

○平成20年度は、廃棄物管理事業の変更許可を取得した上で、施設建設工事に着手する。

### 3. 期待される成果

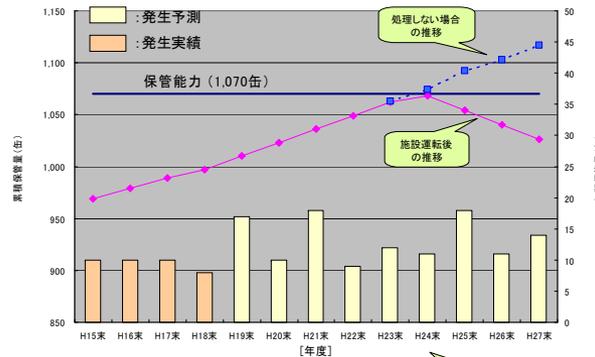
○平成20年度から施設建設工事に着手することにより、新たな貯蔵施設の増設を行わずに、当該廃棄物の保管の限界を回避

○発生者責任の責務を果たすとともに、地域住民の意向にそった最も合理的と考えられる方法で、廃棄物の排出抑制、最小化を可能

○高速増殖炉サイクル実用化研究開発に必要な研究開発基盤施設の安定運転の確保

○施設整備後、本施設の運転を通じて、減容処理技術の実証や、取得される溶融固化体に関するデータの今後の処理処分研究への反映

α 固体貯蔵施設S孔保管推移



固体廃棄物減容処理施設



H24年度に固体廃棄物減容処理施設の運転開始を想定した場合

建設スケジュール

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1. 全体計画 (施設全体設計)	詳細設計Ⅰ	実施設計Ⅱ								
		バックエンド推進・評価委員会								
2. 許認可		機構内審査								
①安全審査 (廃棄物管理事業変更許可)			プレ7 安全審査							
②設工認/ 使用前検査					設工認					
						使用前検査				
3. 建設工事			準備工事		建設工事					
4. 施設運転								試運転・調整		
									施設運転	